

パートⅢ 地域

内記入してください。

評価項目のページ	実態把握・評価項目 [ ]は詳細を指示し、[ ]は簡潔に示す。 近隣ユニバーシティ	組点 結果で採点した 数平均は合計点	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	子ども自身に関する検討課題										家庭・地域の検討課題			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P23	健全な養育環境を持つ地域社会	対象児童の地域交流(近所付き会)	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	近隣ユニバーシティ	対象児童の地域交流(近所付き会)	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P24	児童期の教育事業や学習機会の有無と利用	対象児童の教育事業や学習機会の有無と利用	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	自然環境	対象児童の教育事業や学習機会の有無と利用	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P25	児童期の教育施設との連携の状況	児童期の教育施設との連携の状況	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	サポートの資源	サポートの資源	留意の必要度 ◎=大 O=中 △=小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14





児童福祉施設におけるケース概要票

子ども氏名  
保護者氏名  
主訴

生年月日  
住所

入所年月日

措置児童相談所

作成年月日

作成者

年齢	子ども自身	家庭生活(家族関係)	地域社会(学校など)	既往歴・特記事項	家族関係
					<ジェノグラム(家系図)>
					地域社会(社会資源)
子どもの心身状況など (心身の健康状況、自己、関係性、コミュニケーション、情緒的発達、認知的発達、問題解決能力、日常生活動作能力、性格)					
総合所見					

児童福祉施設におけるケース概要票(記入例)

子ども氏名 未来 幸太 生年月日 入所年月日  
 保護者氏名 未来 良 住所 S市  
 主訴 虐待 措置児童相談所 △△児童相談所 作成年月日 作成者

年齢	子ども自身	家庭生活(家族関係)	地域社会(学校など)	既往歴・特記事項	家族関係
0歳	望まない妊娠 第1子長男	子どもができ結婚	新興住宅地域 人間関係希薄		<p>父—自営業の両親の一人っ子であり、結婚前の31歳まで実家で生活していた。社会経験は乏しく、仕事が生き甲斐だという。そのため育児や家事には非協力的。しかし子どもは好きで本児ともよく遊び関係は良好。現在の職業は事務職。子どもの問題については解決したいと考えているものの、現在単身赴任中で実行できない状況。健康面は良好</p> <p>母—会社員の両親の一人娘であり、父とは20歳で結婚。結婚後は若いながらも家庭を切り盛りしていたが、子育てについての技術が身に付いておらず、相談する人がいないこともあり、ストレスが溜まったという。そのため子どもの問題に対しては、力によって対応してしまうという。夫婦でのコミュニケーションはあまりない。健康面は身体的には良好であるが精神的にはストレスフルな状態</p> <p>妹—現在小学校3年生。両親には可愛がられていた。学校生活にも適応しており、現在は問題は見られない。本児とは親和的である。但し母親に対しては気を遣って生活している。</p> <p>経済状況：年収500万程度 借金はなし                  住環境：広さはあるものの清潔さに欠ける                  家族の凝集性：まとまりに欠けている面あり                  リーダーシップ：父親にあるものの母親には弱い                  社会参加度：孤立気味                  出自家族との関係性：疎遠になっている                  本児の問題改善に関する希望                  実父：望んでおり、協力的                  実母：虐待は認めているものの治療意欲はあまりない</p>
1歳	保育所入所	母親職場復帰	保育所の指示で毎日弁当を持参 母親との関係良好	アレルギー 小児病院への通院 食事指導	
2歳	なかなか他児と遊べず				
3歳	退行現象が見られる(食事を食べない)	妹が生まれる 母親による虐待が始まる	保育所に相談		
4歳	保育所退所	母親職場退職			
5歳					
6歳					
7歳	小学校入学 楽しんで登校 少年野球チームに入る		ベテランの女性教諭が担当になり本児への配慮あり		
8歳	持ち出しが始まる	配置換えにより父親の帰りが遅くなる 母親は食事を抜いたり、玄関で深夜まで立たされたりした			
9歳					
10歳	学校でいじめを受ける 家出が始まる				
11歳	家出がくりかえされるようになり、万引きをして警察に補導される(保護者引取)	父親が単身赴任、この頃から母親の虐待がひどくなる	本児の顔などに痣などがあると学校より通告があり一時保護		
12歳	施設入所				
13歳					
14歳					
15歳					
16歳					
17歳					
18歳					

子どもの心身状況など (心身の健康状況、自己、関係性、コミュニケーション、情緒の発達、認知的発達、問題解決能力、日常生活動作能力、性格)

本児は、望まれずに生まれてくるが、妹が生まれてくるまでの3歳までは両親の適切なかわりによって育てられている。身体的には痩せているものの発育的には問題ない。大きな病気をしたことはない。但しアレルギー体質であり、卵や乳製品へのアレルギー症状が見られる。現在思春期スタートが始まっている。運動が好きで特に野球など球技を得意にしている。万引きなど反社会的行動傾向がみられるものの、頻度が少なく、手口などの技術面から判断しても軽・中度の段階である。ただ、顧罪意識が低く相手に対して心からの謝罪ができない面あり。学校場面ではおとなしく口ごもって自分の気持ちや表現しないことなど他者とのコミュニケーションがうまくとれないこともあってか、いじめられることが多く、孤立気味である。自殺を考えたときもあったとのこと。被虐待やいじめられた経験から、人間に対する不信任や恐怖感が強い。また、自己肯定感が低く、今の自分を好きになれない。したがって、友人はいるものの少ない。だが、教師との関係においては小学校1年の担任との関係がよかったこともあり、教師に対しては比較的素直であり、自分の気持ちを表現することもあった。また、妹など年下のものに対してはやさしい面もある。つまずいたり、失敗したときなどに自分をコントロールしながら考えて対処する機能は十分獲得しておらず、自分に自信がないこともありすぐに諦めてしまう傾向にある。知的な発達に関しては年齢相応の学力を有している。基本的な生活習慣であるが、身だしなみやや身に付いていない面もあるが、あいさつなどはしっかりできる。

総合所見

母親による本児への虐待は、妹が生まれた直後から始まっており、小学校入学後は一時減少したものの、本児の行動上の問題が出始めた頃から再び始まり、本児の行動上の問題が増えるにつれ、エスカレートしていった。虐待による本児への影響であるが、人に対する不信任が強い、自己肯定感・自尊感情が低い、他者とのコミュニケーションが上手にとれないなどの状態となって表れている。母親の虐待の原因であるが、基本的な養育技術が身に付いていないために、育児ストレスや育児負担感が大きく、実父を含め周辺からの支援も得られないような状況から生じたものと考えられる。また、第二子の出生に伴う本児の退行現象を母親が受け止めることができなかつたことで、母親の本児に対する不適なかわりが始まった可能性があることから、本児の退行状態に対する母親の認知や感情などの心理的狀態を分析、理解していく必要がある。本児への虐待の経緯をみると、父親からの協力が得られないような状況が影響を及ぼしており、また、父親と本児との関係もよいことから、父親のあり方が1つのポイントであり、勤務条件や養育参加などについて検討していくことが重要。本児については、プラス面を活用、強化しつつ、指摘した問題性の改善・回復を図ることが重要。母親に対しては、援助者を派遣しストレスの軽減などを図りつつ、虐待行為への認識を深めながら治療意欲を促進し、養育技術や抑制技術を体得していく支援が重要。また、本家族を支えていく地域支援ネットワークを形成し支援していく必要があると思われる。



自立支援計画画票(記入例)

施設名 フ리카 子ども氏名 ミライ 保護者氏名 ミライ 主たる問題 被虐待経験によるトラウマ・行動上の問題	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	性別 男 女 男 女	作成者名 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
本人の意向 母が自分の間違いを認め、謝りたいといっていると聞いて、母に対しては嫌な気持ちももっているが、確かに通いたい。	保護者の意向 母親としては、自分のこれまで行ってきた言動に対し、不適切なものがあったことを認識し、改善しようと思っており、息子に謝り、関係の回復、改善を望んでいる。	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
第○回 支援計画の策定及び評価 次期検討時期: △年 △月	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
【長期目標】 盗みなどの問題性の改善及びトラウマからの回復	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
【短期目標】 被害体験やいじめられ体験により、人間に對する不信感や恐怖感が強い。	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
【短期目標】 自己イメージが低く、コミュニケーションがうまくとれず、対人ストレスが蓄積すると、行動上の問題を起こす	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
【短期目標】 他児に対して表現する機会を与え、対人コミュニケーション機能を高める	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)
【短期目標】 自分がどのような状況になると、行動上の問題が発生するのかが、その力が十分に認識できていない	市町村・学校・保育所・職場などの意見 入所後の経過(3ヶ月間)をみると、本児も施設生活に適應し始めており、自分の問題性についても認識し、改善しようとしており、母親も、兎相の援助活動を積極的に行い、関係の回復、改善を望んでいる。	児童相談所との協議内容 【支援方針】本児の行動上の問題の改善及びトラウマからの回復を図ると共に、父親の養育参加などによる母親の養育ストレスを軽減しつつ養育方法について体得できるように指導を行い、その上で家族の再統合を図る。	児童養護施設 ミライ 幸太 幸太 幸太 幸太	生年月日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日 ×年×月×日	年齢 ○年○月○日 (11歳)

【長期目標】 母親と本児との関係性の改善を図ると共に、父親、母親との協働による養育機能の再生、強化を図る。また、母親が本児との関係でどのような心理状態になり、それが虐待の開始、及び悪化にどのように結びついているのかを理解できるようにする。	支援内容・方法 児童相談所における個人面接の実施(月2回程度)	評価(内容・期日)
【短期目標】 母親の虐待行為に対する認識が深まりつつあるが、抑制技術を体得できていない。本児に対する認知や感情について十分に認識できていない。	支援内容・方法 これまで継続してきたペアレンティング教室への参加(隔週)	年 月 日
【短期目標】 養育技術を獲得する。	支援内容・方法 これまで継続してきたペアレンティング教室への参加(隔週)	年 月 日
【短期目標】 父親の役割が重要であるが、指示させたこととは行うものではない認識は十分ではない	支援内容・方法 週末には可能な限り帰宅し、本人への面会や家庭における養育支援を行う。児童相談所での個人及び夫婦面会(月1回程度)	年 月 日
【長期目標】 定期的かつ必要に応じて支援できるネットワークの形成(学校、教育委員会、主任児童委員、訪問支援員、警察、民間団体、活動サークルなど)	支援内容・方法 主任児童委員が開催しているスポーツサークルや学校のPTA活動への参加による地域との関係づくり	年 月 日
【短期目標】 サークルなどへの参加はすすようにするものの、近所とのつきあいなどはなかなかできず、孤立感み	支援内容・方法 主任児童委員が開催しているスポーツサークルや学校のPTA活動への参加による地域との関係づくり	年 月 日
【短期目標】 学校との関係性が希薄になりつつある。	支援内容・方法 定期的な通信や面会などにより、交流を図る	年 月 日
【長期目標】 地域からのフォロアアップが得られる体制のもとでの家族再統合もしくは家族機能の改善	支援内容・方法 定期的な通信や面会などにより、交流を図る	年 月 日
【短期目標】 母親と本人との関係が悪く、改善が必要。再統合が可能かどうかを見極める必要あり。	支援内容・方法 個々の達成目標を設けながら、その達成に向けた支援を行う。	年 月 日
【短期目標】 母親と本人との関係が悪く、改善が必要。再統合が可能かどうかを見極める必要あり。	支援内容・方法 通信などを活用した本人と母親との関係調整を図る	年 月 日
【特記事項】 通信については開始する。面会については通信の状況を見つつ判断する。	支援内容・方法 通信などを活用した本人と母親との関係調整を図る	年 月 日

厚生労働科学研究費補助金  
総括研究報告書

厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)  
総括研究報告書

Ⅲ. 要保護児童のための“子どもと家庭を対象とした総合評価票”  
の標準値設定について

主任研究者 菅原ますみ (お茶の水女子大学大学院・人間文化研究科・助教授)  
研究協力者 松本聡子 (お茶の水女子大学大学院・人間文化研究員)

評価の対象となるケースの特徴を知るために、評価票の各項目に関する年齢相当の標準値を設定することを目的として、今年度は、小学校・中学校・高等学校を対象とした評価票掲載項目の質問紙調査を開始し、現在までに下記の学校で調査を実施した。配布・回収は現在も継続しており、回収終了次第、解析を開始する予定である。また、

今後は就学前(乳児期・幼児期)の時期に関する同様の調査を実施する必要があると考えられる。

実施にあたっては、別添のような評質問票を作成し、小学校1年生～高等学校3年生までを対象とした教師評定調査および小学校4年生以上を対象とした自己報告調査の2種類をおこなった。配布・回収は各校の授業時間内で教師によっておこなわれた。

<小学校>

沖縄県	都市部	那覇市立松川小学校
	農山漁村部	糸満市立喜屋武小学校
愛媛県	都市部	東温市立北吉井小学校
	農山漁村部	愛南市立船越小学校
愛知県	都市部	大府市立共長小学校
	都市部	刈谷市立小高原小学校

<中学校>

沖縄県	農山漁村部	伊江村立伊江中学校
愛媛県	都市部	松前町立松前中学校
	農山漁村部	篠山小中学校組合立篠山中学校
愛知県	農山漁村部	南知多町立内海中学校
	農山漁村部	設楽町立設楽中学校

<高等学校>

沖縄県	都市部	沖縄県立陽明高等学校
	農山漁村部	沖縄県立辺土名高校
愛媛県	都市部	愛媛県立今治東高校
	農山漁村部	愛媛県立小田高等学校
長崎県	都市部	長崎県立長崎南高校
	農山漁村部	長崎県立宇久高校
愛知県	都市部	愛知県立松蔭高等学校
	農山漁村部	愛知県立足助高等学校

# 子どもの発達と行動に関する調査票

生徒用

## — 調査のお願い —

1. この調査票は、子どもの行動と発達について研究させていただくためのものです。みなさんのお答えをもとに子どもたちの成長について考えていきたいと思っておりますので、どうか協力くださいますようお願いいたします。
2. あなたのふだんのようすについてお聞きしたいと思っております。テストではありませんので、思った通りすなおな気持ちで答えてください。
3. みなさんの答えは、「はい、と答えた人が〇人いた」というふうに全体でまとめられます。あなたの答えがほかの人に知られることはありませんので、安心してください。だれかと相談したりしないで、あなた一人で答えてください。
4. 次のページからの質問について、あてはまる番号やことばに〇じるしをつけたり、にあてはまる数字を書いてください。
5. 書きおわったら、「生徒用」と書いてある封筒に自分で入れて封をとじ、担任の先生にわたしてください。

平成17年度 厚生労働科学研究

「要保護児童のための児童自立支援計画ガイドラインの活用と評価に関する研究」

主任研究者 お茶の水女子大学心理学講座 菅原ますみ

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

Tel/Fax: 03-5978-5270(ダイヤルイン)

Q1. はじめに、つぎのことを教えてください。あてはまるところに○じるしをつけ、□に数字を記入してください。

- 1)あなたの学年は : 中学校( 1 ・ 2 ・ 3 )年生/高校( 1 ・ 2 ・ 3 )年生  
 2)あなたの年齢は :   歳  
 3)あなたは : 1. 男 ・ 2. 女

Q2. 現在、あなたが住んでいるところ(町や村)は以下のうちどれにあてはまりますか？最も近いものを一つだけ選んで○をつけてください。

1. 親の代からずっと今の地域に住んでいる
2. 自分が生まれた頃からずっと今の地域に住んでいる
3. 自分が小さい頃に引っ越して来て住んでいる
4. つい最近、引っ越して来て住んでいる

Q3. あなたのお家と近所との関係は以下の1～4のうち、どれに最も近いですか？あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. どのような人が住んでいるのかよく知らない
2. 顔を合わせたとき、挨拶をする程度
3. 時々、家の前で立ち話などをする
4. お互いの家に入出入りする

Q4. 以下の中で、あなたの地元(近所)のオトナの人たちと、あなた自身との関係で、下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度に○をつけてください。

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
1. 地元(近所)の人たちは自分のことをよく知っている	1	2	3
2. 地元(近所)の人たちは道などで会うと気軽に声をかけてくる	1	2	3
3. 地元(近所)の人たちから自分は頼りにされている	1	2	3
4. 地元(近所)の人たちから時には叱られることがある	1	2	3
5. 地元(近所)の人たちには、なにかとお世話になっている	1	2	3
6. 自分は地元(近所)の人気者であると感じる	1	2	3
7. 地元(近所)の人たちは自分のすることに関心を持っている	1	2	3
8. 地元にいる時の自分が一番自分らしい	1	2	3
9. 地元にいるとほっとする	1	2	3
10. 地元(近所)の人たちは自分のことを心配してくれる	1	2	3
11. 将来も、今の地元で生活してゆきたいと思う	1	2	3
12. 自分は地元(近所)の一員であると感じる	1	2	3

生徒(1)

Q5. 以下の行動について、あなたは今までにどれくらいしたことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	したことはない	一、二回ある	たまにする	よくする
1. 駅のホームや電車の床に座り込む	1	2	3	4
2. 繁華街やコンビニの前に座り込む	1	2	3	4
3. 電車の中で飲食する(アメ・ガムなどは除く)	1	2	3	4
4. 道を歩きながら、飲食をする	1	2	3	4
5. 道に紙くずや空き缶などをぼい捨てする	1	2	3	4
6. 電車などの、人が静かにしている場所で大声で話す	1	2	3	4

Q6. 街中や電車の中などで行動するとき、以下の項目はあなたの考え方にどの程度あてはまりますか。あてはまる程度に○をつけてください。

	よくあてはまる	少しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1. お金さえはらえば何をしても許される	5	4	3	2	1
2. 法律に違反さえしなければ、あとは個人の自由だ	5	4	3	2	1
3. 人に怒られなければ何をしてもよいと思う	5	4	3	2	1
4. 悪いことをしても、バレなければよい	5	4	3	2	1
5. 何をしようが自分の勝手だと思う	5	4	3	2	1
6. いつ誰が見ているか分からないので行動には気をつけたい	5	4	3	2	1
7. 何か問題をおこして近所の噂になるのは嫌だ	5	4	3	2	1
8. 周りから変な人と思われないように気をつけている	5	4	3	2	1
9. 警察につかまったら、恥ずかしくて世の中に顔向けできない	5	4	3	2	1
10. 世間から笑われるようなことだけはしたくない	5	4	3	2	1
11. 友だちのみんながやっていることに乗り遅れたくない	5	4	3	2	1
12. 仲間はずれになるくらいなら一緒に悪いことをしてしまう	5	4	3	2	1
13. 友だちがみんなでも悪いことをしているのに自分だけ裏切れない	5	4	3	2	1
14. 悪いことでもみんなと一緒にやれば平気できてしまう	5	4	3	2	1
15. 仲間がみんなやっているのに自分だけやらないのは恥ずかしい	5	4	3	2	1
16. 自分が誰かの迷惑になっていないか常に気を遣う	5	4	3	2	1
17. 見知らぬ人に対してでも相手の立場になって考える	5	4	3	2	1
18. 他人に迷惑がかかりそうなら身勝手な行動は慎む	5	4	3	2	1
19. 人に迷惑になるかどうかを、まず第一に考えて行動すべき	5	4	3	2	1
20. 大勢の人がいる場所ではお互い同士もっと気を遣うべき	5	4	3	2	1

(次のページに続きます)

	よくあてはまる	少しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
21. みんなで話し合っって決めたことは守らなければならない	5	4	3	2	1
22. なるべく多くの人々の立場を考えて行動する	5	4	3	2	1
23. どんな人に対してでも人権を尊重する	5	4	3	2	1
24. 仲間と考えが違ったりしても、それぞれの意見を大切にする	5	4	3	2	1
25. 多数の人々の意見だけでなく、少数の意見にも耳をかたむけるべき	5	4	3	2	1

Q7. 学校でのあなたのことをおききます。それぞれ、あてはまる数字のところに○をつけてください。

	よくある	時々ある	あまりない	ない
1. 学校のみんなから嫌われている気がする	4	3	2	1
2. 学校では、みんなの中にうまく入れない	4	3	2	1
3. 学校のみんなは私のよさがわかっていない気がする	4	3	2	1
4. 学校では私のよいところが生かされない	4	3	2	1
5. 学校ではみんなからのけものにされている気がする	4	3	2	1
6. 学校ではあまり目立なくてつまらない	4	3	2	1
7. 学校で友だちにいじめられたことがある	4	3	2	1
8. 先生に反抗したり、乱暴したことがある	4	3	2	1
9. 授業中、つまらなくなつて教室をぬけだしたことがある	4	3	2	1
10. 授業中、大声を出したりしてさわいだことがある	4	3	2	1
11. 先生をいじめたことがある	4	3	2	1
12. 授業中、じつとすわっていることができなくて立ち歩いてしまったことがある	4	3	2	1
13. 学校で友だちをいじめたことがある	4	3	2	1
14. 教室にいと緊張する	4	3	2	1
15. 学校のことを考えただけで緊張する	4	3	2	1
16. 学校にいとといじめられるのではないかと不安になる	4	3	2	1
17. 友だちに何か言われるとイヤと言えないと思う	4	3	2	1
18. クラスのみんなにばかにされないか気にしている	4	3	2	1

Q8. 以下の質問文を注意して読んでください。それぞれの質問に対して、ここ半年間くらいのあなたのように一番あてはまると思うところに○をつけてください。よくわからないと思う質問でも、すべての質問について、どれが一番近いものを選んで教えてください。

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
1. 私は、他人に対して親切にしている 私は、他人の気持ちをよく考える	0	1	2
2. 私は、おちつきがなく、長い間じっとしてられない	0	1	2
3. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、体の調子が悪くなったりする	0	1	2
4. 私は、他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)	0	1	2
5. 私は、カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	0	1	2
6. 私は、一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	0	1	2
7. 私は、だいたいは言われたとおりにする	0	1	2
8. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ	0	1	2
9. 私は、誰かが傷ついたり、怒っていたり、気分がわるい時など、 すすんで手をさしのべる	0	1	2
10. 私は、いつもそわそわしたり、もじもじしている	0	1	2
11. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	0	1	2
12. 私は、よくけんかして、相手を自分の思う通りにあやつっている	0	1	2
13. 私は、おちこんでずんできていたり、涙ぐんだりすることがよくある	0	1	2
14. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、 だいたいは好かれていると思う	0	1	2
15. 私は、すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	0	1	2
16. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい	0	1	2
17. 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている	0	1	2
18. 私は、よくうそをついていると言われたり、 ごまかしていると責められたりする	0	1	2
19. 私は、他の子から、いじめられたり、からかわれたりする	0	1	2
20. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・友だちなど)	0	1	2
21. 私は、よく考えてから行動する	0	1	2
22. 私は、家や学校、その他のところから、自分の物ではないものを 持ってきてしまう	0	1	2
23. 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく	0	1	2
24. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする	0	1	2
25. 私は、ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	0	1	2

……質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。